

未来に責任を持つ政治公明党

# 大口よしのり通信

大口よしのりホームページ ▶ <http://www.oguchi.gr.jp/>

令和4年 秋季号



## 物価高から国民守る 新たな経済対策 公明党対策本部が首相に2度の緊急提言



▲岸田首相に緊急提言する大口議員(右)ら=4月14日 首相官邸

公明党政務調査会長代理の大口善徳衆議院議員は3月28日、4月14日と2回にわたり、公明党国民生活総点検・緊急対策本部長の石井啓一幹事長らとともに、首相官邸で岸田文雄首相に対し、国民生活を断じて守るために、補正予算を編成し今国会で成立させ、必要な対策を果斷に実行するよう緊急提言を申し入れました。

これに対し政府は4月26日、原油高騰対策と生活困窮者支援などを柱とする「総合緊急対策」を決定。9月9日、政府は物価・賃金・生活総合対策本部(第4回)を開催し、加速する物価高に対応するため、石油元売りへの補助金の年末までの延長や、6,000億円規模の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金、低所得世帯に1世帯当たり5万円をプッシュ型で給付、輸入小麦価格を据え置き、飼料価格・肥料原料価格の高騰対策をするなどを新たに盛り込んだ「追加策」の取りまとめを行いました。

- 石油元売り業者への補助金拡充、上限の大幅引き上げ、油種の対象拡充、期間延長
- 中小企業、農林漁業、運輸業などへの支援策の延長・拡充
- 「地方創生臨時交付金」の大幅な拡充・活用、地方創生臨時交付金を活用した生活困窮者対策の実施
- 中小企業の資金繰り強化
- 住居確保給付金、緊急小口資金などの特例貸付、雇用調整助成金の特例の期限延長
- 化学肥料原料の調達支援、配合飼料の価格高騰対策
- 農業・水産業の燃料価格高騰の影響緩和へセーフティーネット基金を積み増し
- セーフティーネット貸付支援策の拡充や既往債務の返済条件変更への柔軟な対応
- トラック運送事業等における燃料価格高騰に係る転嫁円滑化対策

提言の  
ポイント

# 医療現場の負担軽減を!



▲政府・与野党連絡協議会で提案する大口議員(右)=8月4日 国会内

公明党政務調査会長代理の大口善徳衆院議員は8月4日、政府・与野党連絡協議会に出席し、感染者の急増で逼迫する医療現場の負担軽減を訴えました。さらに大口議員は、医療機関や保健所の業務負担を減らすため、感染者情報を一元的に管理する国のシステム「HER-SYS(ハーシス)」の入力項目の更なる削減、自主検査で陽性となった人のオンライン申請、ワクチン接種の必要性の丁寧な説明、抗原定性検査キットの流通改善も求めました。

## 災害対策・防災・減災・復興推進本部長として全国の被災地へかけつけ調査、緊急要請

大口善徳衆院議員は、公明党「令和4年福島県沖を震源とする地震対策本部」「令和4年8月3日からの大雨災害対策本部」の本部長として被災現場へ急行し、住民を見舞うとともに被害状況を調査し、担当大臣へ緊急要請を行い、被災地の早期復旧へ尽力して参りました。



▲谷防災担当大臣に緊急要請をする大口災害対策本部長(前列左から3人目)ら=8月18日 内閣府



▲大雨災害対策本部で質疑・要請する大口本部長ら=8月12日 国会内

「令和4年8月3日からの大雨災害対策本部」の大口本部長は、東北・北陸地方を中心とする大雨被害と政府の対応について、災害現場の調査活動に基づき質疑したのち、政府に対し激甚災害の指定による支援、特別交付税などの財政措置や被災自治体から出されている早期復旧等の要請をしました。



▲最上川が氾濫した山形県の被災地を視察=8月6日



▲賀茂郡松崎町の被災地を視察=8月13日



▲東北新幹線脱線による被害状況を高架橋上で斎藤大臣と共に視察=3月19日 宮城・白石市

# 危険な盛土 規制強化へ 法人罰金最高3億円

## 許可制導入し安全確保 規制区域指定へ 宅地造成及び特定盛土等規制法(盛土規制法)成立



▲質問する大口議員=2月29日 衆院本会議場

大口善徳衆院議員は2月29日、衆議院本会議で審議入りした危険な盛土を全国一律の基準で規制する宅地造成等規制法改正案について公明党を代表して質問に立ち、「災害が激甚化、頻発化している現状を踏まえ「国民の命を守るために、危険な盛土への対策は喫緊の課題だ」と強調。規制の効果を上げるために自治体への財政面と技術面の支援を訴えるとともに、既存の危険な盛土への対応強化も実施するよう求めました。

これに対し斎藤鉄夫国土交通大臣は、盛土の基礎調査に必要な経費の補助や地方整備局職員を自治体に派遣するなど「きめ細かく支援を行い、執行体制の強化を図っていく」と答えました。

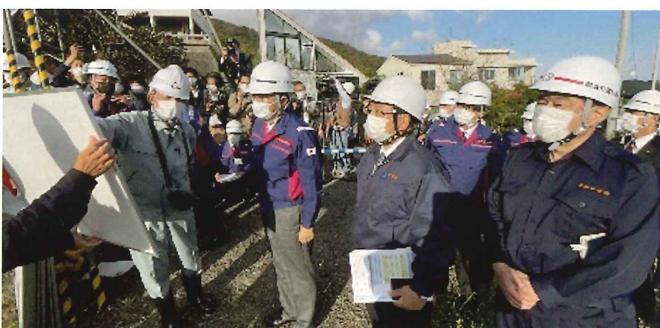
### 盛土規制法のポイント

- 法人に対する罰金は最高3億円
- 都道府県知事らが規制区域を指定
- 造成開始後も中間・完了検査で安全確認
- 土地所有者の管理責任を明確化

## 昨年7月3日に発生した 熱海市伊豆山の土石流災害現場へ



▲赤羽国交大臣(右)と土石流災害の被災状況を調査する大口議員(中央)=2021年7月8日



▲斎藤国交大臣(中央左)と土石流災害現場を視察する大口議員(中央右)=2021年11月8日

## 衆議院予算委第八分科会で斎藤大臣に質問



▲斎藤大臣(左)と質疑する大口議員(右)=2月17日 国会内

### 質疑の項目

- 宅地造成及び特定盛土等規制法案の意義等
- 国道1号長沼交差点付近の道路機能強化
- 国道1号静清バイパス清水立体〈上り線〉先行供用
- 国道1号浜松バイパス優先整備区間の令和4年度新規事業化
- 一般広域道路富士富士宮道路の整備促進
- 清水港「江尻・日の出地区」の防潮堤整備
- 浜松湖西豊橋道路整備促進

# 静岡南北道路 長沼立体 計画段階評価に着手

国道1号長沼交差点付近の渋滞解消へ 静岡市長と国交大臣要望



▲齊藤大臣へ静岡市の重点課題を要望する大口議員(左から4人目)、田辺静岡市長、公明党静岡県議団・公明党静岡市議会=4月4日 国交省



大口議員は2月17日の衆院予算委員会第八分科会で、国道1号長沼交差点付近の道路機能強化について昨年7月16日、長沼WGで、(主)山脇大谷線の立体化と長沼大橋の橋梁架替の一体的実施の方向性が示されたことで、「計画段階評価のプロセスに入る時期が来ている」と質問。齊藤鉄夫国交大臣は、「来年度からの計画段階評価の着手に向け、詳細な検討を鋭意進めていきたい」と答弁しました。そして国土交通省は3月25日、「静岡南北道路長沼立体」の概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)を実施すると発表しました。

これを受け大口議員は4月4日、田辺信宏静岡市長、公明党静岡県議団・公明党静岡市議会とともに国交省に齊藤大臣を訪ね、「静岡南北道路長沼立体」の整備については、「国家プロジェクト」として推進するよう強く働きかけ、齊藤大臣は「市と連携して全力で取り組んでいきたい」と答えました。



▲ウクライナ避難民から生活の様子や要望を聴く大口議員(中央)=5月20日

## 安心して日本で生活を ウクライナ避難民と懇談

大口善徳衆院議員は5月20日、公明党の山口代表らとともに、ロシアの侵略から逃れて来日したウクライナ避難民のうち、日本に身寄りのない人たちを受け入れている一時滞在施設を訪れ、避難民と懇談しました。山口代表は避難民からの切実な訴えに対し、政府と連携して相談体制を整備する考えを表明。「どうか安心して日本に滞在してほしい」と激励しました。

## 皆様のご支援に心より感謝

7月10日に投開票された第26回参議院議員選挙では、7選挙区で完勝し、比例区では「上田いさむ」ら6人が当選。合計13議席を獲得することができました。記録的な猛暑の中、時には大雨に見舞われながら、献身的に公明党をご支援くださいました党員、支持者の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。公明党は引き続き連立政権の中で、山積する内外の諸問題に真摯に取り組み安心と希望の未来を切り拓くため、全力を尽くして参ります。



▲大勝利に喜びあふれる上田参議院議員(中央右)ら=7月11日静岡市内

### ■大口よしのり プロフィール

衆議院議員、弁護士、公明党 法務委理事、災害対策特委理事、情報監視審査会委員、中央幹事会会长代理、政務調査会会长代理、社会保障制度調査会会长、組織委員長、災害対策等推進本部本部長、法務部会長、厚労部会顧問、新型コロナウイルス感染症対策本部副本部長、行政改革本部本部長、デジタル社会推進本部長、公明党静岡県本部代表。

発行:大口よしのり後援会

■国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館308号

TEL.03-3508-7017

■静岡事務所 静岡県静岡市葵区幸町11-1

TEL.054-273-8739

大口よしのり  
WEBサイト



Facebook

